

令和 8 年度

後期（一般）選抜志願者募集要項

山形県立寒河江工業高等学校
〒991-8512 寒河江市緑町 148 番地
電話（0237）86-4278

I 募 集 要 項

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

- (1) ものづくりに興味・関心があり、専門的な知識や技術を身に付けたい生徒を募集します。
- (2) 工業分野で活躍できるエンジニアへとキャリアアップしたい生徒を募集します。
- (3) 対話の重要性を理解し、状況に応じた挨拶や対話ができるようになりたい生徒を募集します。
- (4) 地域の祭りやボランティア活動に参加するなど、地域とのつながりを大切にしたい生徒を募集します。
- (5) 心身を健康に保ち、熱心かつ継続的に活動に取り組みたい生徒を募集します。

2 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和 8 年 3 月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和 8 年度前期（特色）選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 95 条の各号のいずれかに該当する者。

3 設置課程・学科及び入学定員

- (1) 課 程 全日制の課程
- (2) 学科及び入学定員

募集学科	メカニカルエンジニア科	ロボットエンジニア科	IT エンジニア科
入学定員	40 名	40 名	40 名

4 出 願

- (1) 出願に必要な手続
 - ① 山形県公立学校 Web 出願システムにより出願情報の登録を行い、入学者選抜手数料として 2,200 円を納付する。
 - ② 中学校長は、山形県公立学校 Web 出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者、令和 6 年度以前の卒業生からの志願者については登録を要しない。
 - ③ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル（dB）」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書を作成し、山形県公立学校 Web 出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- (2) 個別に必要な書類
 - ① 自己申告書
進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合に自己申告書を提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内必着とする。
 - ② 志願承諾書
高等学校に在籍のまま志願する場合は、在籍高等学校長の志願承諾書を、山形県公立学校 Web 出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- (3) 志願受付期間
令和 8 年 2 月 18 日（水）から 2 月 24 日（火）12 時まで
- (4) 出願に関する留意点
 - ① 前期（特色）入学者選抜及び連携型入学者選抜に漏れた者で、後期（一般）入学者選抜を志願する者は、選抜手数料の納付は要しないが、山形県公立学校 Web 出願システムで新たに登録が必要となる。

- ② 志願の取消しや締め切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、中学校長が本校校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校 Web 出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。
- ③ 前期（特色）入学者選抜の志願にかかわって、調査書情報、評定概況が登録済の場合は、登録を要しない。
- (5) 受検票印刷開始日
令和 8 年 2 月 27 日（金）
- (6) 進路等相談
中学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和 8 年 1 月 30 日（金）17 時まで本校校長に、健康及び身体の状態、希望学科、進路希望等について相談を行うこと。

5 学 力 検 査

- (1) 検査日 令和 8 年 3 月 7 日（土）
- (2) 集合場所は本校検査場（各教室）とし、生徒昇降口から入場し、8 時 10 分から 8 時 25 分までに受付を完了すること。
- (3) 日程は下表のとおりとする。

時 間	教 科
8：50～9：40	国 語
10：00～10：50	数 学
11：10～12：00	社 会
12：50～13：40	理 科
14：00～14：50 (14：00 から約 10 分間はリスニングテスト)	外 国 語 (英 語)

- (4) 検査場の下見は、実施しない。

6 追 検 査

- (1) 対象者は志願者のうち、次の①②のいずれかに該当し、3 月 7 日の学力検査の受検ができず追検査の受検を希望する者。
- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。
- (2) 検査日 令和 8 年 3 月 12 日（木）
- (3) 会場、日程、検査内容は本検査に準ずる。
- (4) 本検査が受検できないと判明したら、速やかに出身又は在籍中学校長に連絡し、追検査の受検手続きを行うこと。
- (5) 手続きに必要な書類は次の①②とし、3 月 10 日（火）15 時までに山形県公立学校 Web 出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ① 追検査受検願
- ② 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類
- (6) 追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

7 携帯品及び受検上の注意

- (1) 携帯品
受検票（山形県公立学校 Web 出願システムにより 2 月 27 日以降に印刷したもの）、筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含む）・消しゴム・定規・コンパス・鉛筆削り〕、昼食、上ばきとする。
腕時計の持込みは可とする。ただし、あらかじめアラーム機能等を停止しておくこと。停止できないものは、検査室に持ち込めない。また、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。
- (2) 注意
- ① 筆入れ、下敷の使用は認めない。
- ② 芯の濃さは 2B・B・HB とし、シャープペンシルの芯の太さは 0.5mm 以上とする。
- ③ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
- ④ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。

- ⑤ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。ただし、携帯電話、スマートフォンについては、連絡手段として持参してもよいが、校内では電源を切り使用してはならない。
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

8 選 抜

選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

- ① 選抜は、学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行う。
- ② 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は5:5とする。

9 合 格 発 表

令和8年3月17日（火）16時に山形県公立学校 Web 出願システムにより行う。
合格者オリエンテーションは3月26日（木）午前に行う。

10 個人情報の提供

受検者の個人情報(学力検査の教科別得点)の提供は、山形県公立学校 Web 出願システムにより行う。

※ 募集要項に関する疑問点は、本校教務部に直接問い合わせること。

Ⅱ 参 考 事 項

1 入学後の諸経費(令和7年度の状況)

授業料(年額)

項目	金額（円）
授業料	118,800

- 9回の分割で納入。
- 就学支援金制度の対象となる生徒は、授業料の納付は原則不要。就学支援金が所得要件により不認定となった場合は、高校生等臨時支援により、就学支援金と同様に授業料の納付は原則不要。

学校徴収金等(第1学年年額)

項目	金額（円）
PTA会費	8,000
生徒会費	8,700
後援会費	7,200
学年経費	48,000
各種分担金	5,500
旅行積立金	60,000
計	137,400

- 入学時に17,000円納入、残金120,400円については7回の分割で納入。

教科書代(第1学年年額)

学科や選択科目により異なりますが、最大で41,279円お支払いいただきました。

実習費(第1学年年額)

学科毎に異なりますが、最大で37,000円を納入していただきました。
なお、実習費には実習着代や授業で用いる物品代などが含まれます。

制服代

男子制服代	63,340円
女子制服代	63,990円

体育用品代

体育着・シューズ・Tシャツ	25,400円
---------------	---------

2 教育課程の概要

教科	科目	1年	2年	3年	計	備考
国語	現代の国語	2			2	授業の1単位時間：50分 ▲文学国語、政治・経済、化学基礎、論理・表現Ⅰ(外国語)より1科目を選択履修する。
	言語文化		2		2	
	文学国語			▲2	0・2	
	国語表現			2	2	
地理歴史	地理総合			2	2	△数学Aか各科の工業科目のいずれか1科目を選択履修する。
	歴史総合		2		2	
公民	公共	2			2	
	政治・経済			▲2	0・2	
数学	数学Ⅰ	3			3	◇音楽Ⅰか美術Ⅰのどちらか1科目を選択履修する。
	数学Ⅱ		3	2	5	
	数学A			△2	0・2	
理科	科学と人間生活	2			2	情報Ⅰは工業情報数理で代替する。
	物理基礎		3		3	
	化学基礎			▲2	0・2	
保健体育	体育	2	2	3	7	2年生の総合的な探究の時間の1単位は集中履修とする。
	保健	1	1		2	
芸術	音楽Ⅰ	◇2			0・2	3年生の総合的な探究の時間の4単位は課題研究で代替する。
	美術Ⅰ	◇2			0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ		2	2	4	
	論理・表現Ⅰ			▲2	0・2	
家庭	家庭基礎	2			2	
各学科に共通する科目(小計)		19	15	13・15	47・49	
※工業科目(小計)		9	14	14・16	37・39	
総合的な探究の時間		1	1	(4)	2(4)	卒業までに修得すべき教科科目単位数 78単位
ホームルーム活動		1	1	1	3	
合 計		30	31	30	91	

※各科の教科工業での科目

学科	教科	科目	1年	2年	3年	計
メカニカルエンジニア科	工業	工業技術基礎	3			3
		課題研究			4	4
		実習		4	4	8
		製図	2	2	2	6
		工業情報数理	2			2
		機械工作		3		3
		機械設計	2	2	2	6
		原動機			2	2
		生産技術		3		3
		自動車工学			△2	0・2
	科小計		9	14	14・16	37・39
ロボットエンジニア科	工業	工業技術基礎	3			3
		課題研究			4	4
		実習		4	4	8
		製図	2	2		4
		工業情報数理	2			2
		機械工作		3		3
		機械設計			2	2
		電子機械	2	2		4
		生産技術		3		3
		自動車工学			△2	0・2
	工業	電気回路			△2	0・2
		ハードウェア技術			2	2
		コンピュータシステム技術			2	2
	科小計		9	14	14・16	37・39
ITエンジニア科	工業	工業技術基礎	3			3
		課題研究			4	4
		実習		4	4	8
		製図		2		2
		工業情報数理	2			2
		電気回路	2	2		4
		電子技術		2		2
		通信技術			2	2
		プログラミング技術	2	2	2	6
	工業	ハードウェア技術			2	2
		ソフトウェア技術		2		2
	工業	コンピュータシステム技術			△2	0・2
		科小計	9	14	14・16	37・39